

高鳥毛敏雄教授 退職記念特集

[A Special Issue in Honor of Professor Toshio TAKATORIGE]



関西大学 社会安全学部・大学院社会安全研究科
教授 高鳥毛 敏雄
専門分野 公衆衛生学

(学歴)

1971年4月1日	石川県立金沢二水高等学校	入学
1974年3月31日	石川県立金沢二水高等学校	卒業
1975年4月1日	大阪大学医学部医学科	入学
1981年3月31日	大阪大学医学部医学科	卒業

(学位及び論題)

2002年9月17日 医学博士（大阪大学）
論文名：都市住民男性の飲酒習慣ならびに飲酒量増加に関連する要因 ― 大震災後の応急仮設住宅入居者における分析 ―

(職歴)

1981年8月17日	大阪府衛生部公衆衛生課技術吏員 兼大阪府立成人病センター調査部・集団検診Ⅱ部・医員
1983年7月1日	大阪府衛生部公衆衛生課技術吏員 兼大阪府立羽曳野病院・医員
1985年4月1日	大阪府茨木保健所・保健予防課長
1987年4月1日	大阪府松原保健所・保健予防課長
1988年7月1日	大阪大学医学部公衆衛生学講座・助手
1996年4月1日	大阪大学医学部公衆衛生学講座・講師
2005年10月1日	大阪大学大学院医学系研究科社会環境医学講座・助教授（公衆衛生学）
2007年12月1日	大阪大学大学院医学系研究科・特任教授（国際健康政策学）
2010年4月1日	関西大学社会安全学部・大学院社会安全研究科・教授（公衆衛生学）
2023年4月1日	関西大学社会安全学部・大学院社会安全研究科・特別契約教授

(非常勤講師歴)

2009年4月1日～ 2013年3月31日	放送大学 客員教授（健康科学の史的展開）
2010年4月1日～ 現在に至る	大阪大学大学院医学系研究科（国際健康政策学）
2013年4月1日～ 現在に至る	関西看護医療大学大学院（看護政策学）

(賞罰)

1993年	結核予防会結核研究所結核指導者養成研修修了者
1996年	堺市より堺市学童集団下痢症の貢献に対する感謝状
2014年	大阪府医師会感謝状（大阪府医師会調査委員会委員としての貢献）
2017年	東大阪市・市制施行50周年市政 功労者表彰
2022年	日本公衆衛生学会認定専門家（現在に至る）

(主な所属学会)

日本社会医学会 理事長
日本公衆衛生学会災害緊急時公衆衛生活動委員会 委員
日本結核・非結核性抗酸菌症学会 功労会員

(主な社会的な活動)

雑誌公衆衛生・編集委員
大阪府教育庁・学校保健指導医（非常勤嘱託）
大阪府立学校教員健康審査会・常任委員
大阪府立学校結核対策委員会・副委員長
大阪府感染症審議会・結核対策部会・委員
大阪市結核対策評価委員会・委員
東大阪市感染症の診査に関する協議会・委員
枚方市健康増進計画審議会・会長
高槻市地域包括ケア推進会議委員長
高槻市保健医療審議会・委員
高槻市感染症診査協議会・委員
公益法人大阪成人病予防協会・評議員
社会福祉法人大阪社会医療センター・評議員
ストップ結核パートナーシップ日本・理事

研 究 業 績

著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁
(著 書)				
1 和良村の保健事業	分担執筆	1984年	日本公衆衛生協会	多田羅浩三、新庄文明、朝倉新太郎、橋本正巳編「市町村の保健事業原点からのレポート」, 227-261
2 野市町の保健事業	分担執筆	1984年	日本公衆衛生協会	多田羅浩三、新庄文明、朝倉新太郎、橋本正巳編「市町村の保健事業原点からのレポート」, 345-374
3 保健医療対策の概要	分担執筆	1996年	メヂカルフレンド	山口昇・多田羅浩三編 最新介護福祉全書 医学一般・公衆衛生
4 災害時の保健活動	分担執筆	1996年	新企画出版	厚生省健康政策局計画課・指導課監修「災害時の地域保健医療活動」, 48-87
5 Report on the Outbreak of E.coli O157 Infection in Sakai City	共著	1997年	Sakai City	1-93
6 結核予防法—結核、いま、なぜこんな病気が	分担執筆	1999年	医歯薬出版	本田武司監修「感染症新法のでびき」, Medical Technology 別冊, 58-72
7 学校保健	分担執筆	2000年	スーヴェルヒロカワ	清水忠彦・南波正宗編「わかりやすい公衆衛生」, 97-110
8 地域における健康危機管理の推進—テロ対策の具体化に向けて—	分担執筆	2000年	新企画出版	多田羅浩三、高鳥毛敏雄、近藤健文編、「地域における健康危機管理の推進—テロ対策の具体化に向けて—」
9 公衆衛生行政と食品安全対策	単著	2004年	昭和堂	新山陽子編、「食品安全システムの実践理論」, 214-241
10 ホームレスの健康と保健・医療	分担執筆	2007年	信山社	高田敏・桑原洋子・逢坂隆子編 ホームレス研究—釜ヶ崎からの発信—, 「7 ホームレスの健康と保健・医療」, 172-187
11 「ストップ結核パートナーシップ関西世界から関西の結核を考える」報告書	単著	2011年3月	橋川印刷	文部科学研究費補助金基盤研究(C)「低蔓延下における結核の保健医療システムの構築に関する研究」(主任研究者高鳥毛敏雄)「ストップ結核パートナーシップ関西世界から関西の結核を考える」報告書, 1-122
12 「米国サンフランシスコにおける輸入感染症としての結核対策の研究」報告書	単著	2011年3月	橋川印刷	厚生労働科学研究費補助金(新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業)「輸入感染症としての多剤耐性結核の対策・制御に関する研究」(主任研究者岡田全司)平成22年度分担研究報告書「米国サンフランシスコにおける輸入感染症としての結核対策の研究」報告書, 1-90
13 HIV・エイズ問題に関する市民意識調査分析	分担執筆	2012年9月	大阪市社会福祉協議会「福祉と人権」研究委員会	高鳥毛敏雄、ハンセン病問題並びにHIV問題に関する市民意識調査結果分析報告書, 73-120.
14 イギリスにおける公衆衛生と人々の健康保護の制度と専門職教育	単著	2012年3月	関西大学社会安全学部	高鳥毛敏雄、高鳥毛敏雄編「社会安全の文理融合型大学教育と学際的基盤の確立」に関する研究, 平成23年度関西大学重点領域研究助成研究成果報告書, 71-94.
15 健康科学の史的展開	分担執筆	2012年	放送大学教育振興会	多田羅浩三、高鳥毛敏雄編. 健康科学の史的展開, 116-226
16 広域災害時の被災者に対する健康支援活動	分担執筆	2012年	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部編 検証東日本大震災, 166-188

著書、学術論文等の名称		単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁
17	プライマリケアセンター、結核予防・ 治療システムについて	単著	2013年3月	四天王寺大学	日本学術振興会科学研究費補助金事業 「ホームレス者の健康支援を通じた社会的 包摂の推進に関する研究」(研究代表者逢 坂隆子) 平成22・23・24年度研究報告書、 105-111.
18	食品事件・事故と食品安全システム	分担執筆	2013年	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部編 事故防止のた めの社会安全学, 159-181
19	結核対策	共著	2013年	明石書店	原昌平, 鈴木亘編, 脱・貧困のまちづく り「西成特区構想」の挑戦, 72-79
20	日本公共衛生制度的健全と完善(中国 語) (日本の公衆衛生制度)	分担執筆	2014年9月	知況出版	日本如何应对超高齢社会——医療保健・ 社会保障対策 (How to challenge the super aging society) 編者 Zhao Lin Tatara Kozo Gui Shixus, 第三章 日本 の公衆衛生制度, 40-79.
21	学校保健	分担執筆	2015年12月	ヌーヴェルヒロカワ	清水忠彦・佐藤拓代編集, わかりやすい 公衆衛生学 第4版, 第10章 学校保健, 167-184.
22	東日本大震災における被災者の健康支 援活動の到達点	分担執筆	2016年	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部編, 東日本大震災 復興5年目の検証, 93-113
23	食品の安全を守る社会の仕組み	分担執筆	2016年	すいれん舎	樫原正澄編, 食と農の環境問題 持続可 能なフードシステムをめざして, 136-157
24	健康観と健康に関する社会のしくみ	分担執筆	2017年	南江堂	竹内康浩, 田中豊徳監修, テキスト健康 科学 改訂第2版, 231-252
25	環境リスク	分担執筆	2018年	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部編 社会安全学入 門, 97-102
26	政府の防災・減災活動	分担執筆	2018年	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部編 社会安全学入 門, 200-204
27	自治体に働く保健師の現在・過去・未 来	共著	2018年	萌文社	全国保健師活動研究会企画・編集, 保健 師の未来を語る——自治体に働く保健師の 現在・過去・未来, PHNブックレット No. 20, 51-57
28	Environmental Risks	分担執筆	2018年12月	Springer	S. Abe, M. Ozawa, Y. Kawata, (eds.), Science of Societal Safety: Living at Times of Risks and Disasters, pp.87- 97, T. Takatorige, Y. Hirose, S. Nagamatsu.
29	Government Systems for Disaster Management	分担執筆	2018年12月	Springer	S. Abe, M. Ozawa, Y. Kawata, (eds.), Science of Societal Safety: Living at Times of Risks and Disasters, pp.169- 184, T. Koyama, S. Abe, S. Kondo, Y. Okumura, H. Shiroshita, T. Takatorige.
30	英国のHealth & Well-being 社会建設 の500年の社会実験	単著	2019年7月	公益財団法人 生存 科学研究所	講演論文集 Part-One, eBook健康価値 創造研究, 66-82
31	医療がたどってきた道と未来への展望 近代医学の誕生と感染症対策	分担執筆	2020年2月	医学書院	小橋元, 近藤克則, 黒田研二, 千代豪昭 編集, 第4版学生のための医療概論, 104-117
32	新型コロナのクライシスが問いかけて いるもの	分担執筆	2021年4月	浪速社	関西大学編 新型コロナで世の中がエラ いことになったので関西大学がいろいろ 考えた, 7-23.
33	公衆衛生の歴史と感染症対策, 今改めて 保健所の役割を考える～生存権・健 康権を保障する第一線の機関～	分担執筆	2021年6月	萌文社	PHNブックレット21 第53回全国保健師活動研究会紙面集学 習資料 新型コロナ特集:日本の公衆衛 生の現状と感染症の課題, 26-37.
34	各国のCOVID-19の流行状況と対応	分担執筆	2022年	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部編 検証 COVID-19災害, 3-26.
35	感染症と人間社会	分担執筆	2022年	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部編 検証 COVID-19災害, 60-82.

高鳥毛 敏雄教授 研究業績

著書、学術論文等の名称		単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁
36	建築物環境衛生の歴史的意義	分担執筆	2025年	日本建築衛生管理教育センター	新建築物の環境衛生管理第2版 上巻 20-34
37	建築物環境衛生管理業務	分担執筆	2025年	日本建築衛生管理教育センター	新建築物の環境衛生管理第2版 上巻 35-54
(学術論文) 関西大学着任までの筆頭及び指導執筆論文のみ					
1	結核診査協議会における肺癌症例の検討	単著	1883年	日本公衆誌, 30	541-545
2	「疾病」の早期発見・早期治療の効果—地域医療活動の指針づくりをめざして—	共著	1984年	地域医学, 6	63-72
3	最近の結核登録患者の死亡状況, 日本公衛誌	単著	1985年	日本公衛誌, 32(8)	63-72
4	脳卒中退院患者の特性に関する研究	共著	1989年	日本公衛誌, 36	229-236
5	老人保健事業が老人入院医療に及ぼす影響に関する分析	共著	1990年	日本公衛誌, 37	23-30
6	高齢者の結核患者の管理	単著	1990年	結核, 65	755-762
7	老人の入院及び在宅ケアに関連する要因に関する研究	単著	1990年	日本公衛誌, 37	255-262
8	地域の中の痴呆性老人の実態	単著	1990年	公衆衛生, 54	379-384
9	後期高齢者の入院医療の動向に関する研究	共著	1990年	日本公衛誌, 37(8)	610-619
10	Relation between use of health check ups starting in middle age and demand for inpatient care by elderly people in Japan	共著	1991年	BMJ, 302	612-618
11	Main trends in hospital use in Different cities in Japan	共著	1993年	Medical Care, 31	335-343
12	高校から報告された結核発生状況と結核対策の課題	単著	1994年	結核, 69(12)	759-765
13	在宅寝たきり老人の自立意欲と生命予後	共著	1995年	厚生指標, 42(6)	17-23
14	災害時の公衆衛生と保健婦—阪神・淡路大震災から保健行政が学ぶこと—	単著	1996年	保健婦雑誌, 52(8)	600-605
15	現代の防災計画 公衆衛生の立場から	単著	1996年	公衆衛生, 60	238-244
16	わが国における病原性大腸菌O157の流行	単著	1997年	公衆衛生, 61	89-95
17	防災計画を策定する際に必要な情報	単著	1997年	公衆衛生, 61	730-734
18	1996年夏の堺市の腸管出血性大腸菌流行	単著	1998年	小児内科, 30	729-733
19	集団感染—大都市の結核問題	単著	1998年	保健婦の結核展望, 35(2)	2-10
20	都市の結核問題	単著	1999年	呼吸器疾患・結核資料と展望, 29	11-22
21	21世紀に向けての地域保健	単著	1999年	公衆衛生, 63(1)	2-3
22	Predictors for the development of haemolytic uraemic syndrome with Escherichia coli O157: H7 infection: with focus on the day of illness	共著	2000年	Epidemiology and Infection, 124(3)	343-349
23	大阪市の結核罹患率の低下速度の鈍化要因に関する分析	単著	2000年	結核, 75(9)	533-544
24	地域のデンジャーグループの結核	単著	2000年	地域保健, 31(11)	61-66
25	調査研究の種類とデータの集計解析について	単著	2000年	公衆衛生, 64(6)	418-422

著書、学術論文等の名称		単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁
26	結核の社会学	共著	2000年	カレントセラピー、 18(8)	38-44
27	都市住民男性の飲酒習慣ならびに飲酒 量増加に関連する要因—大震災後の 応急仮設住宅入居者における分析—	共著	2001年	日本公衛誌、48(5)	344-355
28	Self Ligation Mediated Polymerase Chain Reaction の開発とその有用性	共著	2001年	結核、76(1)	9-18
29	堺市 O157 食中毒事例からみた公衆衛 生および感染症対策の課題	単著	2002年	農業と経済、68(14)	114-120
30	都市問題としての結核とその対策	単著	2002年	結核、77(10)	679-686
31	保健現場が着目すべきマイノリティと は	単著	2002年	保健婦雑誌、58(6)	454-459
32	大都市部救急告知病院に搬送された行 旅病人の健康状態とその特性	共著	2003年	病院管理、40(2)	143-150
33	公衆衛生学と食品の安全	単著	2003年	農林業問題研究、 149、38(4)	179-187
34	救急搬送要保護傷病入院患者の疾病構 造と保健医療システムの現状の検討	単著	2004年	社会医学研究、22	1-12
35	公衆衛生対策とリスクコミュニケーション	単著	2004年	公衆衛生、68(7)	504-507
36	結核対策のブレイクスルー	単著	2004年	公衆衛生、68(1)	19-22
37	胸部レントゲン検診実施に基づく野宿 生活者の結核対策の実践的検討	単著	2005年	社会医学研究、23	42-47
38	結核感染症の現状と今後の対策	単著	2005年	日本保険医学会誌、 103	41-49
39	ロンドンの公衆衛生体制と結核対策戦 略	単著	2005年	公衆衛生、69(3)	203-208
40	ドイツにおける一般対策の及ぶにくい 人々に対する保健所活動	単著	2006年	公衆衛生、70(2)	106-109
41	格差社会に対応する公衆衛生活動	単著	2006年	保健師ジャーナル、 62(2)	174-174
42	大阪におけるホームレスへの健康支援 —社会学を学ぶ者たちの実践的研究—	共著	2007年	社会医学研究、25	15-28
43	結核高罹患地域における医療施設外来 受診者に対する結核検診の意義	共著	2007年	結核、82(5)	455-458
44	ホームレス者の結核の実態とその対策 に関わる研究—結核検診の3年間の実 践から	単著	2007年	結核、82(1)	19-25
45	スポーツ振興から見える公衆衛生活動 の展望	単著	2007年	公衆衛生、71(8)	642-645
46	わが国の農業政策の推移と農村社会の 変貌	単著	2008年	公衆衛生、72(11)	879-882
47	わが国の貧困と医療の課題—英国との 比較から—	単著	2009年	貧困研究、2	51-58
48	自治体を中心の健康政策への期待と意 義	単著	2009年	公衆衛生、73(7)	497-501
49	結核対策の及ばない人々に対する対策 あいらん地区における実践活動から	単著	2009年	日本公衛誌、56(6)	418-421
50	英国における公衆衛生人現任教育の現 状—Faculty of Public Health プログ ラム	単著	2009年	公衆衛生、73(3)	200-205
51	低まん延国における結核対策の保健医 療組織—米国、英国、ドイツ—	単著	2009年	結核、84(2)	94-96
52	救急医療現場における薬物中毒者の実 態	単著	2010年	大阪保険医雑誌、 519	26-30

高鳥毛 敏雄教授 研究業績

	著書、学術論文等の名称	単著・共著・ 分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁
53	米国、イギリス、ドイツにおける結核医療の提供体制	単著	2010年	結核, 85(2)	98-101
(学術論文) 関西大学社会安全学部着任後 筆頭及び指導執筆論文 (2010年～2025年)					
1	Tuberculosis infection among homeless persons and caregivers in a high-tuberculosis-prevalence area in Japan: a cross-sectional study	共著 C96: E111A95C96: E109C96: E178	2011年2月	Bio Med Central	BMC Infectious Diseases, T. Tabuchi, T. Takatorige, Y. Hirayama, N. Nakata, S. Harihara, A. Shimouchi, K. Fujita, H. Yoshida, Y. Tamura, T. Nagai, T. Matsumoto, T. Takashima, H. Iso, 11: 22, doi: 10.1186/1471-2334-11-22.
2	社会安全を支える公衆衛生組織と人材育成	単著	2011年3月	関西大学	社会安全学研究, Vol. 1, 27-40
3	家畜伝染病対策における国と地方の課題 — 公衆衛生の立場から —	単著	2011年1月	全農林労働組合	農村と都市を結ぶ, No. 711, 34-43
4	逸脱する病院ビジネスとホームレスの人々の医療問題	共著	2011年3月	明石書店	ホームレスと社会, 小林和樹, 高鳥毛敏雄, 西崎浩二, 鈴木亘, Vol. 4, 46-55.
5	わが国の健診の位置づけの変遷と課題	単著	2011年5月	大阪府保険医協会	大阪保険医雑誌, No. 519, 17-21
6	公衆衛生の現場知と専門知	単著	2011年9月	医学書院	公衆衛生, Vol. 75, No. 9, 662-667.
7	東日本大震災で問われた公衆衛生活動とその体制の課題	単著	2011年12月	大阪大学医学部学友会	大阪大学医学部学友会誌, Vol. 31, 108-111
8	公衆衛生制度と感染症対策	単著	2011年12月	全国保健師活動研究会	第43回全国保健師活動研究会報告集, 128-130
9	低蔓延状況下の結核医療体制	共著	2012年9月	日本結核病学会	結核, 加藤誠也, 伊藤邦彦, 高鳥毛敏雄, 大角晃弘, 田中慶司, 石川信克, Vol. 80 (9), 577-584.
10	国内初発患者に対応した神戸市の2009年新型インフルエンザ (H1N1) 対策における相談および医療体制の課題 — 神戸市と茨城県の比較から —	共著	2012年9月	日本公衆衛生学会	日本公衛誌, 白井千香, 藤山理世, 内野栄子, 入江ふじこ, 高鳥毛敏雄, 磯博康, Vol. 59(9), 684-692, 2012.
11	東日本大震災における公衆衛生活動の検証 — その課題と今後の備え —	単著	2012年3月	大阪公衆衛生協会	大阪公衆衛生, 高鳥毛敏雄, Vol. 83, 2-4, 2012.
12	「西成特区構想」への提言 今後の結核対策について	単著	2012年12月	明石書店	ホームレスと社会, 高鳥毛敏雄, Vol. 7, 88-92.
13	公衆衛生の流れを変える結核対策	単著	2012年4月	日本結核病学会	結核, 高鳥毛敏雄, Vol. 87(4), 379-380.
14	広域災害時の被災者に対する健康支援活動	分担	2012年2月	ミネルヴァ書房	高鳥毛敏雄, 関西大学社会安全学部編 検証 東日本大震災 第8章, 166-188.
15	原発事故避難区域への保健師派遣に関する実践活動と課題の検討	単著	2013年2月	関西大学社会安全研究科・社会安全学部	社会安全学研究, 高鳥毛敏雄, No. 3, 85-98.
16	現代社会における社会医学の立ち位置	単著	2013年6月	日本社会医学会	社会医学研究, Vol. 30(2), 1-6.
17	大阪の結核問題の克服をめざす	単著	2013年2月	大阪公衆衛生協会	大阪公衆衛生, Vol. 84, 2-3.
18	災害時の公衆衛生活動と保健師の役割	単著	2013年2月	東北大学大学院医学系研究科地域ケアシステム看護学分野	平成24年度3.11宮城県災害時保健活動の連携検証事業報告書, 東日本大震災の体験を今に, 未来につなぐ, 211-215.
19	プライマリケアセンターを基盤とした結核センター構想 — 大阪市の「西成特区構想」 —	単著	2013年4月	医学書院	公衆衛生, Vol. 77, No. 4, 306-309.
20	釜ヶ崎のホームレス者にみる結核感染と社会	単著	2013年7月	京都大学グローバル生存学大学院連携プログラム	学際トーク・カフェ, No. 2, pp4-6
21	イギリスにおける公衆衛生の歩みと新たな展開	単著	2014年1月	医学書院	公衆衛生, Vol. 78, No. 1, 6-13.
22	大阪公衆衛生協会の公益法人としての新たな旅立ち	単著	2014年1月	大阪公衆衛生協会	大阪公衆衛生, 85, 3-4.

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁
23 保健師活動の基礎	単著	2014年1月		第46回全国保健師活動研究会 報告書, 46-48.
24 保健所の今後を考える	単著	2014年1月		第46回全国保健師活動研究会 報告書, 202-205.
25 現代社会における健康リスク	単著	2014年7月8日	少年新聞社	高校保健ニュース第502号付録, 4-5.
26 非感染性疾患 (NCDs) とは	単著	2014年8月8日	少年新聞社	高校保健ニュース第504号付録, 4-5.
27 高校年齢から問題となる結核感染症のリスク	単著	2014年9月	少年新聞社	高校保健ニュース第506号付録, 4-5.
28 釜ヶ崎における高齢者特別清掃事業就労者及びシェルター利用者を対象とした結核に関する聞き取り調査の報告	共著	2015年1月	日本社会医学会	社会医学研究, Vol. 32, No. 1, 31-39.
29 イングランドの公衆衛生のアイデンティティとリーダーシップ	単著	2015年1月	医学書院	公衆衛生, Vol. 79, No. 1, 36-45.
30 グローバル時代における感染症の動向と対策の課題	単著	2015年4月	大阪府保険医協会	大阪保険医雑誌, No. 583, 13-16.
31 保健師活動の基礎 公衆衛生とは何か	単著	2015年12月	全国保健師活動研究会	第47回全国保健師活動研究会報告書, 111-113.
32 改正感染症法と感染症対策	単著	2015年12月	全国保健師活動研究会	第47回全国保健師活動研究会報告書, 198-200.
33 イギリスにおける医師・専門医と公衆衛生医・専門家の資格認定の変遷	単著	2016年5月	医学書院	公衆衛生, Vol. 80, No. 5, 351-355.
34 感染症対策 「第一線」強化を	単著	2016年1月	読売新聞社	読売新聞, 論点, 1月13日朝刊.
35 結核問題について小児を中心に考える国際的視点から	単著	2016年4月	診断と治療社	チャイルドヘルス, Vol. 19, No. 4, 279-282.
36 保健所は公衆衛生の拠点となっているのか	単著	2016年12月	全国保健師活動研究会	第48回全国保健師活動研究会報告書, 133-135.
37 避難指示解除された檜葉町と南相馬市の地域復興の現状と今後の展望	単著	2017年4月	医学書院	公衆衛生, Vol. 81, No. 4, 336-341.
38 衛生監視制度とそれを支えるプロフェッション	単著	2017年8月	医学書院	公衆衛生, Vol. 81, No. 8, 678-684.
39 大阪の公衆衛生の温故知新—近代から現代—	単著	2017年2月	大阪公衆衛生協会	大阪公衆衛生88号, 2-11.
40 イギリス社会における発展に学ぶ—自治体とプロフェッションによる自立的な活動—	単著	2017年6月	関西大学総合企画室 広報課	Reed No. 49, 9-10.
41 フリマアプリで個人が野菜売り買い—匿名性高く危険も—	共著	2017年11月	毎日新聞	暮らしナビ, 10面.
42 国策「一億総活躍社会」は何をめざすのか	単著	2017年12月	全国保健師活動研究会	第49回全国保健師活動研究会報告書, 61-64.
43 保健所は公衆衛生の拠点となっているのか	単著	2017年12月	全国保健師活動研究会	第49回全国保健師活動研究会報告書, 121-124.
44 英国の地方自治体における公衆衛生総合性と専門性, リーダーシップ性	単著	2018年4月	医学書院	公衆衛生, Vol. 82, No. 4, 320-324.
45 日本における結核多発地域とその特性	単著	2018年1月	東京医学社	成人病と生活習慣病, Vol. 48, No. 1, 46-50.
46 保健所は公衆衛生の拠点となっているのか ～総合的, 即応性, 科学的, 教育的役割を検証する	単著	2018年12月	全国保健師活動研究会	第50回全国保健師活動研究会報告書, 70-74.
47 企業経営と公衆衛生との関係の変遷	単著	2019年4月	医学書院	公衆衛生, Vol. 83, No. 4, 252-256.
48 次代の社会医学を考える	単著	2019年9月	日本社会医学会	社会医学研究, Vol. 36, No. 2, 1-4.
49 保健所は地域の公衆衛生センターになっているのか	単著	2019年12月	全国保健師活動研究会	第50回全国保健師活動研究会 報告集, 153-157.
50 日米の大都市における健康格差に対する公衆衛生活動に関する一考察	共著	2020年3月	名寄市立大学	名寄市立大学紀要, 山中珠美, Vol. 14, 37-46. 査読有

高鳥毛 敏雄教授 研究業績

	著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁
51	中村哲医師のアフガニスタンにおける活動から公衆衛生の原点をみつめる	単著	2020年3月	大阪公衆衛生協会	大阪公衆衛生, Vol. 91, 4-7.
52	日本の感染症対策の歴史から新型コロナウイルス感染症を考える	単著	2020年8月	働くもののいのちと健康を守る全国センター	働くもののいのちと健康, Vol. 84, 153-157.
53	新型コロナウイルス感染症と日本の公衆衛生の到達点	単著	2020年8月	新日本出版社	経済, No. 299, 2000年8月号, 75-85.
54	日本の公衆衛生の歴史とその社会的役割の変遷	単著	2020年8月	大阪府保険医協会	大阪保険医雑誌, No. 648, 10-13.
55	Why Can't We Solve Our Own Problems ウイルスが問いかける「不自然な」地域構造	単著	2020年8月	Foebes Japan	Forbes, No73, 92-93.
56	新型コロナをどう受け止め対応すべきか—公衆衛生の立場から—	単著	2020年8月	関西大学	Reed, No. 62, 1-1.
57	論説 新型コロナウイルスに対する感染症対策を問う—公衆衛生の観点から—	単著	2020年9月	部落問題研究所	人権と部落問題, NO.939, 47-53.
58	新型コロナウイルス感染症の対策を支えている保健所と結核対策の歴史	単著	2020年9月	結核予防会	複十字, No. 394, 9-10.
59	日本の感染症法が成立するまでの歴史とその後の到達点—新型コロナ流行が顕在化させた課題	単著	2020年11月	日本科学者会議	日本の科学者, Vol. 55, 36-37. 査読有
60	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) と社会との関係のこれまでとこれからを展望する	単著	2020年12月	大阪成人病協会	成人病, Vol. 60, No. 300, 3-4.
61	COVID-19に対処した保健所とその役割を歴史的経緯からみる	単著	2020年12月	医学振興銀杏会	大阪大学医学部学友会誌, Vol. 40, 10-16.
62	COVID-19後の社会医学を展望する結核対策の枠組みを超える	単著	2021年1月	日本社会医学会	社会医学研究, Vol. 38, No. 1, 17-26. 査読有
63	社会医学の未来をデザインする 歴史に学び、一隅を照らす	単著	2021年7月	日本社会医学会	社会医学研究, Vol. 38, No. 2, 128-136. 査読有
64	大阪公衆衛生協会の設立から解散までの歴史	単著	2021年3月	大阪公衆衛生協会	大阪公衆衛生, Vol. 92, 4-10.
65	コロナ禍における自治体のリスクアセスメント	単著	2021年3月	ぎょうせい	月刊 ガバナンス, No. 239, 42-44.
66	新型コロナ感染症に保健・医療・福祉はどう対応したか 大阪での事例	共著	2021年3月	日本生命済生会社会事業局	地域福祉研究, 73-90.
67	シリーズ 今、なぜ結核対策が必要か? (8) 座談会「結核対策の今とこれからの課題について」—コロナ対策が浮き彫りにしたもの— (前編)	共著	2021年3月	結核予防会	複十字, No. 397, 8-11.
68	シリーズ 今、なぜ結核対策が必要か? (8) 座談会「結核対策の今とこれからの課題について」—コロナ対策が浮き彫りにしたもの— (後編)	共著	2021年5月	結核予防会	複十字, No. 398, 12-14.
69	保健師は「地区担当制」でこそ	単著	2021年5月	京都民報社	週刊 京都民報, No. 2980, 9-9.
70	コロナ禍を通して問われた日本の公衆衛生と地方自治の現実	単著	2021年6月	兵庫県自治体問題研究所	住民と自治, Vol. 572, 1-7.
71	COVID-19が問う大阪の公衆衛生	単著	2021年9月	大阪自治体問題研究所	おおさかの住民と自治, 特集号 No. 112, 2-7.
72	COVID-19に対応した日本の公衆衛生体制とその到達点—自治体と保健所の現状と課題—	単著	2021年10月	株式会社自治労サービス	月刊 自治研, Vol. 63, No. 745, 35-43.
73	ポストコロナの保健所と医療界の新たな関係を展望する	単著	2021年12月	大阪成人病協会	成人病, Vol. 61, No. 301, 1-2.

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁
74 「人新生」時代における社会医学を展望する	単著	2022年10月	日本社会医学会	社会医学研究, 39巻 2号, 61-65. 査読あり
75 英国の健康安全保障庁(UKHS)創設と今後の公衆衛生体制への期待	単著	2022年7月	医学書院	公衆衛生, 86巻 7号, 638-644.
76 日本の災害時の公衆衛生活動の歩み—阪神淡路大震災まで	単著	2022年11月	医学書院	公衆衛生, 86巻 11号, 974-979.
77 日本の地方自治体の総合性と専門性の課題—公衆衛生の観点から—	単著	2022年5月	ひょうご震災記念21世紀研究機構 研究戦略センター	研究レター-Hem21 Opinion Vol. 70
78 コロナが問いかける人間社会と公衆衛生の未来	単著	2022年12月	ひょうご震災記念21世紀研究機構	21世紀ひょうご, Vol. 33, 3-14.
79 自然条件に規定されている人間社会	単著	2022年7月	関西大学広報委員会	関西大学通信, 7月号.
80 ポスト・イデオロギー時代における社会医学を模索する	単著	2023年10月	日本社会医学会	社会医学研究, 40巻 2号, 123-128. 査読あり
81 日本はCOVID-19のクライシスにどう向き合ったのか	単著	2023年1月	医学書院	総合臨床, 33巻 1号, 51-54.
82 食品関連事業者の社会的役割と社会的責任の相転移	単著	2023年12月	ビジネスセンター社	食品機械装置, 712号, 15-21.
83 COVID-19の流行から公衆衛生の到達点を見る—現状分析と将来展望—	単著	2023年11月	全国保健師活動研究会	PHNブックレットNo. 23, 9-45.
84 パンデミックの予防計画等の現状と課題—都道府県連携協議会—	単著	2023年11月	ひょうご震災記念21世紀研究機構研究戦略センター	研究レター-Hem21 opinion Vol. 80, 1-1.
85 能登半島地震の発生を踏まえて僻地の社会医学を展望する	単著	2024年10月	日本社会医学会	社会医学研究, 41巻 1号, 1-11.
86 わが国の健康医療ケアのEBPMの現状—アカデミアと実務機関との連携	単著	2024年7月	医学書院	公衆衛生 88巻 7号 692-700.
87 根拠に基づいて健康政策(EBHP)を進めるために	単著	2024年10月	医学書院	公衆衛生 88巻 10号 1040-1046.
88 特別寄稿 結核低まん延時代の保健師・看護師の役割を展望する	単著	2024年8月	結核予防会	保健師・看護師の結核展望, 62巻, 1号(通巻123号), 75-82.
89 特殊な仕組みで感染症対策が動いている日本	単著	2025年1月	じほう	調剤と情報 31巻 2号 1月臨時増刊号 12-18.
90 新型コロナウイルス感染症流行後の公衆衛生を展望する	単著	2025年5月	大阪府保険医協会	大阪保健医雑誌, NO.705号, 4-7.
91 学術誌からの抗酸菌学をひもとく 石川県における結核の疫学的研究	単著	2025年6月	日本結核・非結核性抗酸菌症学会	日本結核・非結核性抗酸菌症学会100周年記念誌, 191-191.
92 公衆衛生の温故知新—医制発布からCOVID-19まで—	単著	2026年1月	医学書院	公衆衛生 90巻 1号 4-12.
93 多田羅浩三先生を追悼する	単著	2025年5月	医学書院	公衆衛生 89巻 5号 456-457
94 フェーズフリーの被災者支援体制への期待	単著	2025年9月	ひょうご震災記念21世紀研究機構	研究レター-Hem21 Opinion Vol. 90
(口頭発表 筆頭発表のみ)	発表者	発行年	学会名	共同演者名(3名まで記載)
1 地域における痴呆性老人の援助実態	共同	1989年	第48回日本公衆衛生学会総会つくば	中川裕子, 西信雄, 岡本悦司, 他
2 痴呆性老人の地域ケアシステムにおける保健所と福祉事務所の役割	共同	1990年	第49回日本公衆衛生学会総会, 徳島	多田羅浩三, 西垣千春, 黒田研二, 他
3 寝たきり老人の生命予後	共同	1991年	第33回日本老年社会科学会, 横浜	阿曾洋子, 黒田研二, 多田羅浩三
4 中高年齢男性新登録者にみる職業別の結核の状況	共同	1991年	第66回日本結核病学会総会, 京都	多田羅浩三
5 学校検尿受検者からみた学齢期における腎疾患の発症時期の検討	共同	1992年	第51回日本公衆衛生学会総会, 東京	西信雄, 中西範幸, 新庄文明, 他
6 福祉事務所の痴呆性老人の相談実態. 第34回日本老年社会科学会, 四日市	共同	1992年	第34回日本老年社会科学会, 四日市	多田羅浩三, 黒田研二, 新庄文明

高鳥毛 敏雄教授 研究業績

(口頭発表 筆頭発表のみ)		発表者	発行年	学会名	共同演者名 (3名まで記載)
7	高校生の腎疾患の罹患の実態	共同	1993年	第52回日本公衆衛生学会総会, 北九州	財津裕典, 西信雄, 中西範幸, 他
8	中高年齢者の結核新登録者にみる健康問題	共同	1993年	第34回社会医学研究会総会, 大阪	西信雄, 中西範幸, 黒田研二, 他
9	勤務者の健康管理の課題— 傷病分類別の休業件数・日数の分析から—	共同	1994年	第53回日本公衆衛生学会総会, 鳥取	高森行宏, 財津裕典, 中西範幸, 他
10	最近の高校生の結核の発症状況	単独	1994年	第69回日本結核病学会総会, 長崎	
11	阪神・淡路大震災における公衆衛生活動	共同	1995年	第54回日本公衆衛生学会総会, 山形	高橋進吾, 高森行宏, 多田羅浩三, 他
12	S高校の集団感染事例の検討	単独	1995年	第70回日本結核病学会総会, 名古屋	
13	高齢者の心身機能低下予防に関する研究	共同	1996年	第55回日本公衆衛生学会総会, 大阪	山田敦弘, 西岡千里, 村上茂樹, 他
14	堺市 O157の Person to Person の感染の実態	共同	1997年	第56回日本公衆衛生学会総会, 神奈川	井田修, 池田和功, 木本絹子, 他
15	低蔓延下におけるわが国の結核問題— 大都市の結核対策—	共同	1998年	第57回日本公衆衛生学会総会, 岐阜	青木美憲, アミン, ルフル, 福田英輝, 他
16	大阪市の区別年齢階級別罹患率の推移から推測される高罹患率の要因	単独	1998年	第82回日本結核病学会近畿地方会	
17	低蔓延下におけるわが国の結核対策の課題— 大都市の結核問題	単独	1998年	第73回日本結核病学会総会, 新潟	
18	大都市の特定区における結核高罹患率の背景とその対策の視点	共同	1999年	第58回日本公衆衛生学会総会, 大分	青木美憲, 池田和功, 谷掛千里, 他
19	大都市の結核罹患率の減少速度に関連する要因の解析	単独	1999年	第75回日本結核病学会総会, 大阪	
20	大阪市の異状死体にみられる結核対策の課題	単独	1999年	第84回日本結核病学会近畿地方会	
21	大阪府下の結核罹患率増加地域における年齢階級別罹患率の推移	単独	1999年	第83回日本結核病学会近畿地方会	
22	大都市圏内の地域別患者特性— 第2報保健サービスの現状—	共同	2000年	第59回日本公衆衛生学会総会, 群馬	藤川健弥, 福田英輝, 村上茂樹
23	結核新登録者にみる初診, 確定診断, 入院治療機関の現状とその課題	共同	2000年	第85回日本結核病学会近畿地方会	
24	高齢者の結核— 患者の生活場所別にみる課題—	単独	2000年	第86回日本結核病学会近畿地方会	
25	大都市圏域における人口静態と保健対策の課題	共同	2000年	第41回社会医学研究会総会, 大阪	村上茂樹, 多田羅浩三
26	大都市の結核罹患率の減少速度の鈍化に関連する要因の分析	共同	2000年	第75回日本結核病学会総会, 大阪	
27	大都市の結核制圧の基本戦略	共同	2001年	第60回日本公衆衛生学会総会, 香川	藤川健弥, 中島和江, 福田英輝, 他
28	結核患者の職業区分別にみる結核対策の課題	共同	2001年	第76回日本結核病学会総会, 沖縄	青木美憲, 谷掛千里, 多田羅浩三
29	70歳以上の新登録結核患者の診断と治療	共同	2001年	第87回日本結核病学会近畿地方会	青木美憲, 多田羅浩三
30	わが国の大都市と都市圏の特性と公衆衛生体制の課題	共同	2003年	第61回日本公衆衛生学会総会, 京都	福田英輝, 中西範幸, 多田羅浩三
31	都市問題としての結核とその対策	単独	2003年	第77回結核病学会総会, 東京	
32	地域の結核患者管理評価指標の検討	共同	2003年	第77回結核病学会総会, 東京	藤川健弥, 多田羅浩三
33	ホームレス者の健康・生活実態6: 救急病院と無料低額診療施設の入院患者の分析	共同	2004年	第63回日本公衆衛生学会総会, 鳥根	逢坂隆子, 黒田研二
34	要保護救急搬送傷病者における結核	単独	2004年	第78回結核病学会総会, 岡山	

(口頭発表 筆頭発表のみ)		発表者	発行年	学会名	共同演者名(3名まで記載)
35	ホームレス者に対する検診実践に基づく結核対策戦略	共同	2005年	第64回日本公衆衛生学会総会, 札幌	西森琢, 逢坂隆子, 黒田研二, 他
36	野宿者結核検診—研究から行政事業への課題—	共同	2005年	第96回日本結核病学会近畿地方会, 大阪	西森琢, 下内昭, 田村嘉孝, 他
37	ロンドンと大阪の結核対策の比較研究	単独	2005年	第80回日本結核病学会総会, 埼玉	
38	結核対策の制度の日英比較研究 その1—保健医療体制—	共同	2006年	第65回日本公衆衛生学会総会, 富山	石川信克, 加藤誠也, 大角晃弘
39	野宿生活者自立支援対策の推進と結核対策	共同	2006年	第79回日本結核病学会総会, 名古屋	逢坂隆子, 黒田研二, 下内昭
40	野宿生活者に対する結核対策の強化策—3年連続検診の実績から—	共同	2006年	第81回日本結核病学会総会, 仙台	西森琢, 田村嘉孝, 藤川健弥, 他
41	市民型社会に対応した都市の保健活動組織のあり方	共同	2007年	第66回日本公衆衛生学会総会, 愛媛	黒川渡, 黒田研二, 西森琢, 他
42	ホームレス者の健康支援(3) 野宿生活者に対する検診に基づく結核対策の実践的研究	共同	2007年	第48回社会医学学会総会, 名古屋	山本繁, 西森琢, 逢坂隆子, 他
43	結核有所見者の発病リスク評価と予防に関する研究	共同	2007年	第82回日本結核病学会総会, 大阪	園野桂, 磯博康, 逢坂隆子
44	公衆衛生専門職の教育制度—英国の現状—	単独	2008年	第67回日本公衆衛生学会総会, 福岡	
45	低まん延国における結核対策の保健医療組織—米国, 英国, ドイツ—	単独	2008年	第83回日本結核病学会総会, 東京	シンポジウム
46	世界の大都市の結核医療体制の現状と課題2008年	単独	2008年	第101回日本結核病学会近畿地方会	教育講演 結核医療の展望
47	結核低まん延時代における輸入感染症としての結核対策に関する研究	単独	2009年	第68回日本公衆衛生学会総会, 奈良	
48	英国における輸入感染症としての結核対策	単独	2009年	第84回日本結核病学会総会, 札幌	
49	欧米の結核医療の提供体制	シンポジウム	2009年	第84回日本結核病学会総会, 札幌	シンポジウム 感染症法のもとでの結核医療のあり方
50	多文化共生社会ニューヨーク市の結核の地域マネージメントシステム	単独	2010年	第85回日本結核病学会総会, 京都	
51	低蔓延時代の結核対策を支える保健医療基盤の検討	単独	2010年	第69回日本公衆衛生学会総会, 東京	
52	低蔓延下の結核対策の課題—普遍化と質保証—	単独	2011年	第86回日本結核病学会総会, 東京	
53	結核から見た日本	シンポジウム	2011年	第86回日本結核病学会総会, 東京	シンポジウム 1
54	低蔓延時代の結核医療の課題	単独	2011年	第52回日本社会医学学会総会, 富山	
55	医師の立場別にみた医療機関連携の現状認識と課題—大阪府医師会調査から—	共同	2011年	第70回日本公衆衛生学会総会, 秋田	大阪府医師会調査委員会
56	東日本大震災で問われたわが国の公衆衛生活動の現状と課題	共同	2011年	第70回日本公衆衛生学会総会, 秋田	自由集会
57	低蔓延時代の 関西の結核対策における アドボカシー活動	単独	2012年	第109回日本結核病学会近畿地方会, 京都市	
58	Nuclear plant disaster and the role of Japanese public health center	単独	2012年	The Health Protection 2012 conference, Coventry, UK	
59	地方自治体の食品安全・衛生行政組織と専門職の現状と課題—全国実態調査より—	単独	2012年	第71回日本公衆衛生学会総会, 山口市	
60	大阪府民調査からみるかかりつけ医の現状と課題	共同	2012年	第71回日本公衆衛生学会総会, 山口市	大阪府医師会調査委員会

高鳥毛 敏雄教授 研究業績

(口頭発表 筆頭発表のみ)		発表者	発行年	学会名	共同演者名 (3名まで記載)
61	イギリスの公衆衛生制度と専門職の教育	単独	2013年	第54回日本社会医学 会総会, 八王子市	
62	社会医学的に見た健康課題とその対応	シンポジウム	2013年	第54回日本社会医学 会総会	
63	大阪府内における結核対策に関わる公衆衛生体制の課題	単独	2013年	第111回日本結核病 学会近畿地方会, 大阪 市	
64	Public health system reform and workforce development — Comparative study between UK and Japan —	単独	2013年	Public Health England Annual Conference 2013, Coventry, UK.	
65	南相馬市における 発災後から3年目までの保健活動	学術自由集 会	2013年	第72回日本公衆衛生 学会総会, 津市	
66	原子力災害における公衆衛生の取り組み	シンポジウム	2013年	第72回日本公衆衛生 学会総会, 津市	
67	地域の保健医療を担う医師職のあり方に関する検討 — 大阪府医師会会員調査から —	共同	2013年	第72回日本公衆衛生 学会総会, 津市	大阪府医師会調査委員会
68	地域の保健医療を担う医師職のあり方に関する検討	共同	2013年	大阪府医師会医学会 総会, 大阪市	大阪府医師会調査委員会
69	福島第1原発事故警戒区域避難者に対する健康生活支援の実践とその普遍化	単独	2014年	日本公衆衛生学会, 東日本大震災復興専 門委員会	東北大学医学部良陵会館, 2014
70	イギリスの公衆衛生改革と結核対策の推進体制の課題	単独	2014年	第89回日本結核病 学会総会, 岐阜	
71	社会医学の視点からみる日英の公衆衛生の特徴の分析	単独	2014年	第55回日本社会医学 会総会, 名古屋	
72	地域の医療機関連携に関する地域の医師の認識と意識の現状	単独	2014年	第73回日本公衆衛生 学会総会, 栃木県	
73	地域の医療機関連携に関する地域の医師の認識と意識の現状 — 大阪府医師会・会員調査から —	共同	2014年	大阪府医師会医学会 総会, 大阪府医師会 館	大阪府医師会調査委員会
74	先進国の中で唯一の結核問題を解決できない ロンドンの苦悩	単独	2015年	第90回日本結核病 学会総会, 長崎市	
75	英国の「Public Health」と日本の「公衆衛生」の社会医学的考察	単独	2015年	第56回日本社会医学 会総会, 久留米市	
76	大阪府内の診療所長の在宅医療と他職種連携状況	共同	2015年	第74回日本公衆衛生 学会総会, 長崎市	大阪府医師会調査委員会
77	教職員への心身の健康づくり支援事業 — 管理職からみた教職員の心身の健康課題	単独	2015年	第74回日本公衆衛生 学会総会, 長崎市	
78	大阪府内の診療所長の在宅医療と他職種連携状況	共同	2015年	大阪府医学会総会, 大阪府医師会館 (大 阪市)	大阪府医師会調査委員会
79	保健所における結核患者コホート検討会の効用と限界の考察	単独	2016年	第91回日本結核病 学会総会, 金沢市	
80	一般学部の大学生に対する公衆衛生教育とその反応	単独	2016年	第57回日本社会医学 会総会, 滋賀県草津 市	
81	近代大阪における公衆衛生の誕生と戦後の大阪の公衆衛生と大阪公衆衛生協会の歩み	ブース展示	2016年	第75回日本公衆衛生 学会総会, 大阪市	
82	大阪圏の結核対策推進のためのパートナーシップ活動の意義と課題	単独	2016年	第75回日本公衆衛生 学会総会, 大阪市	
83	低まん延化を見据えた新たな結核対策	シンポジウム	2017年	第22回世界結核デー 記念 国際結核セミ ナー	

(口頭発表 筆頭発表のみ)		発表者	発行年	学会名	共同演者名 (3名まで記載)
84	イギリスのパブリックヘルス思想の形成過程の検討	単独	2017年	第58回日本社会医学学会総会, 北海道当別市	
85	公衆衛生専門家のリーダーシップ力に依拠するイングランドの公衆衛生体制の現状と課題	単独	2017年	第76回日本公衆衛生学会総会, 鹿児島市	
86	阪神淡路大震災における健康課題	シンポジウム	2018年	第28回日本疫学会学術総会, 福島市	
87	最近の大学生の結核リテラシーの現状と課題の検討	単独	2018年	第93回日本結核病学会総会, 大阪市	
88	日本の結核対策と社会医学の発展との関連	単独	2018年	第59回日本社会医学学会総会, 栃木県	
89	次代の社会医学を考える	シンポジウム	2018年	第59回日本社会医学学会総会, 栃木県	
90	原子力災害と公衆衛生—地域の復興の現状と課題—	シンポジウム	2018年	第77回日本公衆衛生学会総会, 福島県郡山市	
91	人口類型化に基づく結核蔓延仮説から導かれる結核制圧の方向性	単独	2019年	第94回日本結核病学会総会, 大分市	
92	市民型社会の公衆衛生の日本における現状と将来—日本の公衆衛生のあり方を考える—	研究会	2019年	第78回日本公衆衛生学会総会, 高知市	
93	感染症診査会(結核)のあり方等, 今後の保健所の役割, 結核医療供給	シンポジウム	2020年	第95回日本結核・非結核性抗酸菌症学会総会(WEB開催, 横浜市)	
94	超高齢社会と人口偏在社会における複合災害への備えをどうするか	シンポジウム	2020年	第79回日本公衆衛生学会総会(WEB開催, 京都市)	座長
95	新型コロナウイルス感染症対策と地域社会における連携	シンポジウム	2020年	第79回日本公衆衛生学会総会(WEB開催, 京都市)	座長
96	COVID-19の流行が結核・非結核性抗酸菌症対策に及ぼす影響について	単独	2022年	第97回日本結核・非結核性抗酸菌症学会総会(北海道・旭川)	
97	超高齢社会における複合災害への対応	シンポジウム	2022年	日本学術会議公開シンポジウム 第13回防災学術連携シンポジウム	
98	防災への対応は保健師活動の重要な課題 ~住民と取り組む日頃の学習と組織づくりと災害への備え	単独	2025年	第57回全国保健師活動研究会(横浜市教育会館ホール)	
99	優生保護法下での不妊手術に対する社会医学会の責任ある立場を考える 学会として歴史を振り返る	シンポジウム	2025年	第66回日本社会医学学会総会, 京都市	市民公開講座
100	複数災害に備えたフェーズフリーの広域災害対応 災害時の被災者の健康支援活動の到達点と課題	シンポジウム	2025年	第84回日本公衆衛生学会総会, 静岡市	日本公衆衛生学会災害・緊急時公衆衛生活動委員会委員として発表
101	阪神淡路大震災を起点とした公衆衛生活動の到達点	シンポジウム	2025年	オンライン・シンポジウム 阪神・淡路大震災30年, 社会と科学の新たな関係	日本公衆衛生学会災害・緊急時公衆衛生活動委員会委員として発表
(主な講演・講義 関西大学の在職時のもののみ)		発表者	実施年月日	開催場所	開催主体
1	世界から関西の結核を考える	共同	2011年1月15日	関西大学社会安全学部ミュージズホール	国際シンポジウム ストップ結核パートナーシップ関西
2	感染症対策と公衆衛生	単独	2011年1月23日	横浜市教育会館	第43回全国保健師活動研究会
3	学校保健における健康危機管理について	単独	2011年2月16日	枚方市輝きプラザきらら	第49回枚方市学校保健研究大会

高鳥毛 敏雄教授 研究業績

(主な講演・講義 関西大学の 在職時のもののみ)		発表者	実施年月日	開催場所	開催主体
4	地域医療・公衆衛生から見た医療費政策の課題	単独	2011年4月9日	東日本大震災のため ネット開催	第28回日本医学会総会(東京)シンポジ スト シンポジウム「医療費の適正水準と財源 論」
5	被災地の公衆衛生	単独	2011年6月25日	関西大学 社会安全学部	社会安全学セミナー
6	地方自治体中心の保健活動への期待 —わが国の現状と課題—	単独	2011年7月13日	キャンパスポート大 阪	関西大学 専門セミナー
7	わが国の感染症の政策 —そのフレ ームワークと政策の課題を考える—	単独	2011年7月21日	京都大学大学院医学 研究科	平成23年度京都大学大学院医学研究科修 士課程 感染症疫学(木原正博教授)
8	CVD Trend and Health Care System Comparative study Between UK and Japan	単独	2011年7月26日	大阪大学医学部銀杏 会館	大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学 講座 Osaka Social Determinants of Health Seminar
9	原発災害避難地域の自治体と住民生活 の現状と課題	単独	2011年8月9日	西成市民会館	大阪ホームレス研究会 2011-15
10	地域医療と在宅ケア 医療制度・政策を 理解する	単独	2011年8月18日	大阪府看護協会 桃 谷研修センター	大阪府看護協会 訪問看護研修会
11	市町村の災害時 保健活動の課題	単独	2011年8月31日	大阪府国民健康保険 団体連合会	大阪府市町村保健活動連絡協議会 定例 研修会
12	東日本大震災における公衆衛生活動の 検証—その課題と今後の備え—	単独	2011年11月10日	大阪府病院年金会館	大阪公衆衛生協会保健計画部会
13	食肉の安全を取り巻く問題	単独	2011年11月16日	関西大学 社会安全学部	高槻ミュージックキャンパス 公開講座 高槻市と安全
14	結核感染症との戦い—その過去、現 在、将来—	単独	2011年12月10日	総合市民交流センタ ー	高槻市内5大学リレー市民講座
15	イギリスにおける Public Health と Health Protection Agency	単独	2011年12月21日	関西大学 社会安全学部	社会安全学セミナー No.2011-20
16	災害の備えと健康支援活動	単独	2011年12月26日	徳島県国保会館	徳島県市町村保健師研修会
17	保健所の役割、集団への対応をどう考 えるか	共同	2013年1月20日	全国保健師活動研究 会	第45回全国保健師活動研究会、大阪医 専、大阪市
18	被災地の公衆衛生活動における保健師 の重要性	単独	2013年2月9日	東北大学大学院医学 系研究科	東北大学大学院医学系研究科地域ケアシ ステム看護学分野公開講座、ホテルモン トレ仙台、仙台市
19	自然災害時の特定給食施設の危機管理 ～災害支援のポイント～	単独	2013年2月19日	大阪府・大阪市・堺 市・豊中市・高槻 市・東大阪市 社団法人 大阪府栄 養士会	特定給食講演会Ⅱ 大阪府立大学学術情 報センター
20	看護政策学	単独	2013年4月27日	関西看護医療大学	関西看護医療大学 大学院 看護政策論
21	最近の結核と HIV・AIDS—保健師に 期待すること—	単独	2013年7月17日	藍野大学	藍野大学看護学部
22	わが国の感染症の政策—フレームワ ークと政策の課題—	単独	2013年7月25日	京都大学大学院医学 研究科	修士課程 感染症疫学
23	感染症パンデミックの企業が想定すべ きワーストシナリオ	共同	2013年10月28日	関西大学社会安全学 部	関西大学 第4回 東京シンポジウム
24	結核の基礎知識 高齢者結核のポイン ト	共同	2013年11月25日	高槻市保健所	高槻市保健所介護従事者講習
25	イギリスの公衆衛生改革の教訓から	単独	2014年2月28日	大阪公衆衛生協会	大阪府公衆衛生協会保健計画部会・保健 事業発表会
26	看護政策論	単独	2014年5月31日	関西看護医療大学	関西看護医療大学、兵庫県あわじ市
27	Policy and Programs for infectious disease control in Japan	単独	2014年7月24日	京都大学大学院医学 研究科	京都大学大学院医学研究科国際保健学講 座社会疫学分野
28	社会のグローバル化と健康リスク	単独	2014年7月3日	関西大学社会安全学 部	関西大学社会安全学部連続セミナー安 全・安心社会と社会安全学、関西大学東 京センター

(主な講演・講義 関西大学の 在職時のもののみ)		発表者	実施年月日	開催場所	開催主体
29	シンポジウム基調講演 長寿社会における公衆衛生の原点—社会医学の視点から—	単独	2014年7月13日	日本社会医学会	第55回日本社会医学会総会, 名古屋大学, IB電子情報館
30	公衆衛生マインドの伝承 保健師活動への期待	単独	2014年8月30日	名寄市立大学	名寄市立大学
31	健康のリスクと公衆衛生事業—地域力の向上と健康リスク低減—	単独	2014年9月12日	三重県国民健康保険団体連合会	三重県自治会館
32	食品衛生および食品安全の社会システム	単独	2014年11月12日	川西市教育委員会	アステ川西アステホール
33	現代社会における食中毒の新事情	単独	2014年11月19日	川西市教育委員会	アステ川西アステホール
34	現代社会における食と健康問題	単独	2014年11月26日	川西市教育委員会	アステ川西アステホール
35	国際健康政策学	単独	2014年12月13日, 20日, 27日	大阪大学大学院医学系研究科	大阪大学中之島センター
36	健康格差と公衆衛生政策 保健師教育の課題と展望	単独	2015年2月27日	全国保健師教育協議会中国・四国ブロック	平成27年2月27日(岡山市) 全国保健師教育協議会中国・四国ブロック研究会
37	公衆衛生と感染症対策	単独	2015年3月7日	公衆衛生全国研究集会	第16回公衆衛生全国交流集会(倉敷市)
38	食品流通の国際化と食品安全システムの現状と課題	単独	2015年3月15日	(社)日本食品安全協会, 健康食品管理士会近畿支部	健康食品管理士会・近畿支部 食の安全と健康に関する公開講座
39	看護政策論Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ	単独	2015年5月30日	関西看護医療大学大学院	関西看護医療大学, 兵庫県あわじ市
40	グローバル感染症に備えた公衆衛生体制の課題	単独	2015年6月27日	保健所・公衆衛生を考える全国研究交流会集会実行委員会	第17回保健所・公衆衛生を考える全国研究交流会集会(東京, 品川区)
41	地域保健と健康危機管理の歩みとその対策	単独	2015年12月16日	兵庫県議会健康福祉常任委員会	兵庫県議会議会運営委員会室
42	国際健康政策学①～⑮	単独	2015年12月12, 19, 26日	大阪大学大学院医学系研究科医科学修士課程	大阪大学中之島センター
43	世界の公衆衛生をめぐる動きと日本の状況	単独	2016年1月23日	全国保健師活動研究会	第48回全国保健師活動研究会報告書, 4-12.
44	地域保健法以降の保健所・公衆衛生の課題とあり方	単独	2016年10月22日	保健所・公衆衛生を考える全国研究交流会集会実行委員会	第18回保健所・公衆衛生を考える全国研究交流会集会(品川区)
45	公衆衛生の中で今保健師が果たす役割とは	単独	2016年12月21日	大阪府健康医療部	大阪府保健師現任研修「公衆衛生看護基礎研修」(大阪市)
46	災害時支援—高齢・障がい者対策—	単独	2017年1月21日	関西大学・大阪医科大学・大阪薬科大学	三大学医工薬連環科学シンポジウム 大阪医科大学臨床第Ⅱ講堂
47	公衆衛生における保健所の役割	単独	2017年6月3日	八尾市職員労働組合	八尾市プリズムホール 第1会議室
48	健康と安全とプロフェッション—メディカル・プロフェッションと公衆衛生:日英比較—	単独	2017年6月24日	関西工学倫理研究会	関西大学社会学部
49	近年の健康危機事例からみた自治体の役割と課題	単独	2017年6月29日	羽曳野市議会	羽曳野市議会
50	公衆衛生の中で今, 保健師が果たす役割とは	単独	2017年9月28日	大阪府健康医療部	保健師中堅期研修「公衆衛生看護研修」, 大阪府新別館北館
51	パネルディスカッション 家族介護から地域介護へ—事例から考える地域介護力の向上のための協働—	共同	2017年10月17日	高槻市介護保険事業者協議会	高槻市生涯学習センター多目的ホール
52	結核感染症とその対策のポイント—薬局・薬剤師への期待—	単独	2018年7月24日	吹田市薬剤師会	吹田市立保健センター
53	公衆衛生と保健師	単独	2018年9月27日	大阪府健康医療部	保健師中堅期研修「公衆衛生看護研修」 大阪府庁 新別館北館

高鳥毛 敏雄教授 研究業績

(主な講演・講義 関西大学の 在職時のもののみ)		発表者	実施年月日	開催場所	開催主体
54	英国の Health & Well-being 社会の創造 社会実験500年間の到達点—宗教・思想・経済・団体・科学・企業・生態・環境・グローバル社会—	単独	2018年12月9日	健康価値創造研究会	第17回健康価値創造研究会 (公財) 生存科学研究所 (東京・銀座)
55	災害と住民の安全 公衆衛生の役割を考える	単独	2019年1月19日	全国保健師活動研究会	第51回全国保健師活動研究集会 (京都市, 京都テルサ)
56	分科会基調講演: 保健所は地域の公衆衛生センターになっているのか—設置主体別保健所の問題点と行政組織の再編成—	単独	2019年1月19日	全国保健師活動研究会	第51回全国保健師活動研究集会 (京都市, 京都テルサ)
57	外国人への依存、社会がもたらす公衆衛生リスク	共同	2019年6月11日	関西大学社会安全学部・産経新聞	危機の時代 連続セミナー (関西大学梅田キャンパス)
58	公衆衛生の中で 今、保健師が果たす役割とは	単独	2019年10月3日	大阪府健康医療部	保健師中堅期研修「公衆衛生看護研修」 大阪府庁 新別館北館
59	災害と住民の安全 公衆衛生の役割を考える	単独	2020年1月19日	全国保健師活動研究会	第51回全国保健師活動研究集会 (京都市, 京都テルサ)
60	分科会基調講演: 保健所は地域の公衆衛生センターになっているのか—設置主体別保健所の問題点と行政組織の再編成—	単独	2020年1月19日	全国保健師活動研究会	第51回全国保健師活動研究集会 (京都市, 京都テルサ)
63	The Clock is Ticking: 結核更なる緊急事態宣言	共同	2021年3月26日	ストップ結核パートナーシップ日本(結核予防会)	2021年世界結核デーイベント 市民公開講座 2021年世界結核デーセミナー (オンライン開催 東京都千代田区水道橋)
64	コロナ禍を通して問われた日本の公衆衛生と地方自治	単独	2021年4月17日	兵庫県自治体問題研究所	兵庫県自治体問題研究所創立50周年記念講演会(神戸市, 神戸市勤労会館)
65	コロナへの 公衆衛生的対応と危機管理	単独	2021年6月5日	日本公共政策学会	2021年度日本公共政策学会 第25回総会・研究大会 共通論題1 シンポジウム「新型コロナウイルス・パンデミックにおける危機管理—危機管理における後追い行政、後追い政策は何故改まらないのか—」 (オンライン開催 高槻市)
66	建築物環境衛生管理総論	単独	2021年6月8日	公益財団法人 日本建築衛生管理教育センター	2021年度春 建築物環境衛生管理技術者講習会(大阪府豊中市 阪急千里中央ビル)
67	コロナ禍で大地震が起こったら—避難所生活と感染症—	単独	2021年8月19日	「震災対策技術展」大阪事務局	2021年度 第8回「震災対策技術展」大阪会場(大阪市北区: コングレコンベンションセンター)
68	国際健康政策学	単独	2021年8月30日~9月1日	大阪大学大学院医学研究科	2021年度大阪大学大学院医学修士課程「健康医療問題解決能力の涵養」プログラム (オンライン講義 吹田市)
69	コロナが私たちに問いかけているもの	単独	2021年9月3日	国際防災・人道支援協議会(Disaster Reduction Alliance: DRA)	2021年度 国際防災・人道支援フォーラム 基調講演(オンライン開催 神戸市中央区)
70	コロナ禍における健康づくり	単独	2021年9月21日	大阪府健康医療部健康づくり課	2021年度行動変容推進事業フォローアップ研修会(大阪府城東区 大阪がん循環器病予防センター)
71	災害対応各論 健康医療支援活動	単独	2021年10月6日	人と防災未来センター	2021年度秋期災害対策専門研修マネジメントコース エキスパートA (オンライン講義 神戸市中央区)
72	「公衆衛生と保健師活動 ~10年後を見据えた保健師活動を考える~」	単独	2021年10月12日	大阪府健康医療部	令和3年度 府・市町村保健師統括者会議 (大阪市中央区: 大阪府立男女共同参画・青少年センター)

(主な講演・講義 関西大学の 在職時のもののみ)		発表者	実施年月日	開催場所	開催主体
73	建築物環境衛生管理総論	単独	2021年10月18日	公益財団法人 日本 建築衛生管理教育セ ンター	2021年度秋 建築物環境衛生管理技術者 講習会 (大阪府豊中市 阪急千里中央ビ ル)
74	大阪のまちと感染症との深いつながり	単独	2021年10月20日	関西大学・大阪府	2021年度関西大学おおさか文化セミナー コロナと歩む「おおさか」のその先 (オンラインライブ配信 吹田市)
75	東日本大震災から10年～新たな公衆 衛生活動の歩みと課題～公衆衛生の立 場から	単独	2021年11月5日	兵庫県立大学・人と 防災未来センター	第2回 Joint Seminar 減災 (大阪市 関西大学梅田キャンパス)
76	学校における感染症対策	単独	2021年11月10日～ 12月10日	大阪府教育庁, 地方 公務員災害補償基金 大阪支部	2021年度 府立学校衛生管理者研修会 (オンラインデマンド配信 大阪府庁)
77	感染症に対する 社会システムの重要性 を考える	単独	2021年11月28日	関西大学・関西大学 教育後援会・関西大 学校友会	感染症対策を考える ― 新柄コロナウイ ルス感染症の拡大を踏まえて ― (淡路 市, のじまスコラ)
78	超高齢社会における複合災害への対応	単独	2022年5月9日	日本学術会議	日本学術会議公開シンポジウム 第13回防災学術連携シンポジウム
79	コロナ禍を乗り越える公衆衛生看護の 力	単独	2022年7月2日	岡山県保健福祉部 保健福祉課 地域福 祉班	岡山県看護協会保健師職能委員会 全国保健師長会岡山県支部
80	感染症のパンデミックへの自治体の対 応と住民支援の課題	単独	2024年2月20日	全国保健師活動研究 集会	第56回全国保健師活動研究集会 (京都 JA ビル)
81	結核脆弱者層の課題と対策	単独	2024年3月7日	公益法人結核予防会 結核研究所	第28回国際結核セミナー・結核対策推進 会議 【オンライン開催】
82	近畿におけるハンセン病患者の歴史～ 光明皇后から邑久光明園～	単独	2024年10月23日	NPO Klub Zukunft	クラブ・ツークunft第218回月例会 大阪市 (大阪公立大学文化交流センタ ー)
83	介護従事者が知っておくべき結核の理 解	単独	2024年11月11日	高槻市保健所	高槻市保健所介護従事者結核研修会 (高槻市保健所)
84	阪神淡路大震災を起点とした公衆衛生 活動の到達点	単独	2025年1月7日	防災学術連携体	オンライン・シンポジウム 阪神・淡路 大震災30年, 社会と科学の新たな関係
85	看護政策論	単独	2025年7月26日	関西看護医療大学	オンライン講義
86	国際健康政策学	単独	2025年8月25～ 27日	大阪大学大学院医学 系研究科	大阪大学大学院医学系研究科最先端医療 イノベーションセンター棟
87	感染症との共存時代 トークセッション	共演	2025年9月25日	地方独立行政法人大 阪健康安全基盤研 究所	令和7年度大阪府結核・呼吸器感染症予 防週間啓発セミナー グラングリーン大阪 北館 JAM BASE 6 階
88	災害対策専門研修災害対応各論 健康医療支援活動	単独	2025年10月9日	人と防災未来センタ ー	人と防災未来センター東館 6階会議室
89	公衆衛生における保健師の役割	単独	2025年11月17日	大阪府健康医療部 保健師中堅研修	大阪府庁 本館 5階正庁の間
研究費名		役割	研究期間	研究代表者	研究テーマ
1	基盤研究C	代表	1999～2004年	高鳥毛敏雄	大阪都市圏における結核の高蔓延構造の 解明に関する研究
2	基盤研究B	分担	2004～2006年	黒田研二	ホームレス者の健康・生活実態の解明と 自立支援方策に関する研究
3	基盤研究A	分担	2004～2006年	新山陽子	食品由来リスクの解析と管理, 情報交換, 教育に関する総合的研究
4	基盤研究C	代表	2009～2012年	高鳥毛敏雄	低まん延下における結核の保健医療シ ステムに構築に関する研究
5	基盤研究C	分担	2010～2013年	逢坂隆子	ホームレス者の健康支援を通じた社会的 包摂の推進に関する研究
6	基盤研究S	分担	2010～2014年	新山陽子	食品リスク認知とリスクコミュニケーション, 食農倫理とプロフェッションの確 立

高鳥毛 敏雄教授 研究業績

研究費名	役割	研究期間	研究代表者	研究テーマ
7 基盤研究A	分担	2015～2017年	新山陽子	食品安全のためのリスクコミュニケーションモデルの開発とプロフェッションの要件
8 基盤研究 (A)	分担	2019～2022年	新山陽子	食品選択, 食事内容構成の意思決定と健康リスクコミュニケーションの要件
9 厚生科学研究費補助金 (新興・再興感染症研究事業)	分担	1997～1999年	森亨	再興感染症としての結核対策の在り方に関する総合的研究
10 厚生科学研究費補助金 (新興・再興感染症研究事業)	分担	2000～2002年	森亨	再興感染症としての結核対策の在り方に関する総合的研究
11 厚生労働科学研究費 (政策科学推進研究事業)	分担	2003～2005年	逢坂隆子	ホームレス者の医療ニーズと医療保障システムのあり方に関する研究
12 厚生科学研究費補助金 (健康科学総合研究事業)	研究協力	1999～2001年	川口雄次	大都市マイノリティに対する保健医療サービスの国際比較研究
13 厚生科学研究費補助金 (厚生科学特別研究事業)	研究協力	2001～2002年	多田羅浩三	健康危機事例の検討に基づく保健所の対テロ健康危機管理に関する研究
14 厚生労働科学研究費 (新興・再興感染症研究事業)	研究協力	2003～2004年	逢坂隆子	都市部における一般対策の及びにくい特定集団に対する効果的な感染症対策に関する研究
15 厚生労働科学研究費 (新興・再興感染症研究事業)	分担	2003～2004年	石川信克	輸入感染症としての多剤耐性結核の対策・制御に関する研究
16 厚生労働科学研究費補助金 (新興・再興感染症 研究事業)	分担	2005～2011年	岡田全司	アジア地域との研究ネットワークの活用による多剤耐性結核の制御に関する研究
17 関西大学重点領域研究	代表	2011～2012年	高鳥毛敏雄	大学における教育と研究, 「社会安全に関する文理融合型大学教育と学際的研究基盤の確立」
18 日本公衆衛生学会 東日本大震災公衆衛生プロジェクト活動助成金	代表	2011～2012年	高鳥毛敏雄	福島第1原発事故警戒区域避難者に対する健康生活支援の実践とその普遍化
(主な所属学会)				
1 日本疫学会	日本疫学会会員 (2010～2012年)			
2 日本公衆衛生学会	評議員 (代議員) (～2016年) 編集委員会委員 (～2012年) 理事 (2017～2023年) 災害・緊急時公衆衛生活動委員会・委員 (2018年～現在に至る) 感染症対策委員会・委員 (2019～2022年)			
3 日本社会医学会	理事 (2011～2012年) 副理事長 (2013～2015年) 理事長 (2016～現在に至る)			
4 日本結核・非結核性抗酸菌症学会	将来計画委員会・委員 (～2012年) 代議員 (～2020年) 功労会員 (2021年～現在に至る)			
(主な社会的な活動等)				
(現在に至る活動)				
大阪府教育委員庁・学校保健技師 (1989年～現在に至る)				
医学書院雑誌「公衆衛生」編集委員 (2000年～現在に至る)				
大阪大学大学院医学系研究科・非常勤講師 (2010年～現在に至る)				
大阪市結核対策評価委員会・委員 (2011年～現在に至る)				
大阪府立学校結核対策審議会・委員 (2011年～現在に至る)				
東大阪市感染症の診査に関する協議会・委員 (2011年～現在に至る)				
公益法人大阪成人病予防協会評議員 (2011年～現在に至る)				
枚方市健康増進計画審議会・委員長 (2013年～現在に至る)				
高槻市保健医療審議会・委員 (2013～現在に至る)				
大阪府立学校職員健康審査会・常任委員 (2013年～現在に至る)				
ストップ結核パートナーシップ日本・理事 (2014～現在に至る)				
高槻市地域包括ケア推進会議・委員長 (2015年～現在に至る)				

関西看護大学・非常勤講師（2015年～現在に至る）
高槻市感染症診査協議会・委員（2015年～現在に至る）
社会福祉法人大阪社会医療センター・評議員（2021年～現在に至る）
阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター・上級研究員（2021年～現在に至る）
東大阪市保健医療問題協議会・委員（2023年～現在に至る）
関西広域防災計画策定委員会・新型インフルエンザ等対策専門部会委員（2024年～現在に至る）
結核研究所研究事業運営委員会・外部委員（2025年～現在に至る）

（関西大学在職時のこれまでの活動）

NPOヘルスサポート大阪常任理事（2006～2012年）
放送大学・客員教授（2009～2014年）
伊丹市保健医療推進協議会健康づくり部会（～2016年）
京都大学大学院医学研究科・非常勤講師（2010～2014年）
淡路市病院整備検討委員会委員長（2011～2012年）
大阪府結核対策検討委員会委員（2011～2012年）
高槻市保健所運営協議会委員（2011～2012年）
大阪府医師会調査委員会・委員（2011～2021年）
独立行政法人日本学術振興会科学研究費委員会専門委員（2011～2012年）
大阪府結核対策審議会・委員（2013～2015年）
豊中市民病院・病院運営審議会・委員（2013～2021年）
健康おおさか21推進府民会議・委員（2013～2016年）
公益法人大阪公衆衛生協会・専務理事（2014～2021年）
堺市健康増進計画懇話会・委員（2014～2016年）
大阪府健康づくりアワード審査委員会・委員（2015～2016年）
伊丹市福祉対策審議会・委員（2016年まで）
大阪府感染症審議会 結核対策部会・委員（2016～2022年）
大阪府死因調査等あり方検討会・委員長（2016年）
堺市健康増進に関する懇話会・委員（2021年）